



①題名や作者の名前を知らなくても、思いつくことばから本をさがすことができます
 ②クイズや質問に答えていくと、おすすめの本にたどりつきます

＝どちらも「本の海大冒険」の画面から



知りたいたいことがあっても、どんな本を調べたらいいかわからない。「魔法」をテーマにした物語を読みたいけれど、どんな本があるの？
 こんなとき、どうしますか。本さがしを手伝ってくれるホ

ームページ「本の海大冒険」(<http://kids.icio.or.jp/>)を、大阪府立国際児童文学館(大阪府吹田市)がつくりまし

が登録されています。
 「急いでさがす」のコーナーでは、題名や作者がわからなくても、「じどうしや」といった思いついたことばを打ちこむと、車に関係する本をすぐに見つけることができます。

また、海を冒険しながらクイズや質問に答えていくと、おすすめの本にたどりつく楽しいページもあります。

作者のインタビューや「季節」「なぞとき」など、テーマごとの本もたくさん紹介しています。

ホームページをためた大阪府吹田市北山田小五年の北川晴香さんは、「ゲームをしながら本がえらべるので、おもしろい。総合学習で本をさがすときにも役立つんじゃないかな」と話していました。

児童文学館では、これからも情報をふやしていくそうです。

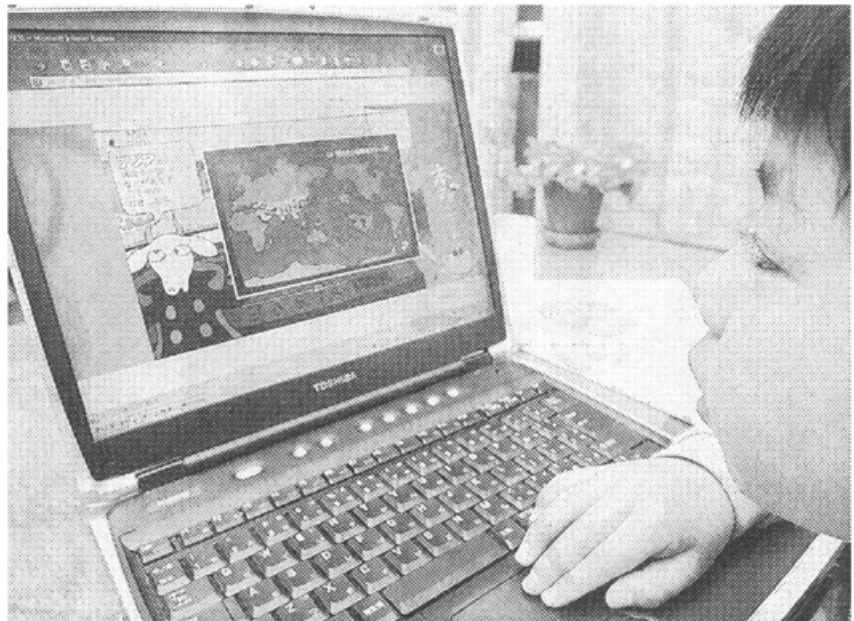
(清田 哲)

子どもがインターネットを通じてゲーム感覚で本を探し出せる国内初の読書活動支援ソフト「本の海大冒険」が、スタートした。開発した大阪府立国際児童文学館(吹田市)は「幼稚園児でも使えるので休日親子で利用して読書の機会を増やしてほしい」としている。

本が好きな子どもだけでなく、興味を持ったことについてどんな本をみれば、載っているかを分かりやすく情報提供するが目的。本の名前や作者、思いっく言葉での検索ができるほか、タイトルに入っていないくても、物語から読み解いた独自のキーワードから検索ができるようにした。案内役は、作家佐々木マキさんの絵本のキャラクターでヤギの「ムツシユ・ムニエル」と「ねむいねむいねずみ」で、操作も楽しくできる。

学芸員らがストーリーを基に各本にキーワードを設定。「物語の本をさがす」というページを開くと、「あそぼーあそぼー」「たんけんぼうけん」「よのなか

ゲーム感覚で子どもの知識欲を伸ばす読書支援ソフト「本の海大冒険」を操作する小学2年生(大阪市内で)



ネットで本の海泳ぐ



「本の海大冒険」フロントページ

ウォッチング」など七つの分類があり、そこに約五千のキーワードを登録した。例えば、「あそぼーあそぼー」の中の「体操」を選ぶと、「逆上がり」というキーワードがあり、逆上がりで物語の中に出てくる本を探し出せる。

国際児童文学館が 読書支援ソフト開発 専門家選んだ8500冊

また、「あそんでさがすコース」では、世界地図で旅をしたり、タイムマシンで歴史の中を行き来したりするなど、クイズや質問に答えながら本にたどりつける。例えば「変身マント」というゲーム。「お父さんに変身」を選ぶと、「お父さんに秘密にしていることはある?」と質問され、「○(ある)」なら、お父さんに秘密を持っている男の子の物語を検索できる。絵本のキャラクターや作家の自己紹介コーナーもあり、ユーザー登録すると、自分のお気に入りの本を登録しておける「部屋」ももらえる。現在登録されているのは専門家が厳選した八千五百冊。同館は「子どもの読書離れは、どんな本が読みたいたいのかが表現できないのがきっかけとなることもある。このソフトの利用を広げて、子どもの好奇心をうまく読書意欲につなげていきたい」としている。

「本の海大冒険」は、<http://kids.iiclo.or.jp/>へ。大阪府立国際児童文学館のホームページ<http://www.iiclo.or.jp/>からもアクセスできる。

ゲーム感覚で本を探そう

子どもがゲーム感覚で本を探せる読書活動支援ソフト「本の海大冒険」を大阪府立国際児童文学館（大阪府吹田市）が開発、インターネットのホームページで公開している。この種の検索ソフトが開発されたのは日本では初めて。

検索画面は小学3年生

ネットに検索ソフト

大阪府立国際児童文学館

まです、それ以降の学年の二つ。ヤギやネズミなどのキャラクターが案内役を務め、クイズや質問の答えを手掛かりに興味や関心に合った本を追跡できる。写真。

作者のインタビューや

新作紹介のコーナーもある。

問い合わせは同館（06・68876・8880）。

【木村葉子】

